

大町病院サポーターの会会報

No94

2023年4月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛



市議会 12 月定例会(令和 4 年 12 月 8 日)における大町病院に対しての質問です。

※12月定例会号「市議会だより」に紹介されていない質問及び答弁です

◆質問は太田昭司議員

コロナ禍を経験し感染症指定医療機関として検査・治療にと職員の皆さんが大変苦勞をしてきた、目指す医療は。

■院長

コロナ禍により3年がたち、大北地区唯一の感染症指定病院として市民を守る地域の総合病院として果たす役割の重要性を改めて認識した。在宅医療を高め365日医療をすることを目指す、また、地域の医療・介護関係者との連携を強化していく。

◆太田議員

大変残念な中、産科の分娩を中止しているが今後再開していくのか。

■院長

10月より婦人科では妊婦健診を再開している、助産師も医師も全国的に不足であり現在は分娩の再開は見通しがつかない状況にあるが、妊婦さんにきていただく状況を作りながら再開を目指したい。

◆太田議員

松本・穂高地域には分娩できる病院がある、それらの病院と大町病院が連携していると聞いているが。

■事務長

大北圏域、松本圏域の産科医療機関の連携・協力については大北地域と松本地域で分娩されるすべての妊婦さんに対して、安心してお産ができるよう地域全体で「お産を守る」システムが構築されています、このシステムは、松本地域で始まったもので令和3年度から大北地域が加わり、松本大北地域出産・子育て安心ネットワーク協議会として、広域的な事業を行っております。

両地域に関係する医療機関で、お産ができる医療機関を分娩医療機関、妊婦健診のみを行う医療機関を健診協力医療機関と位置付け、それぞれ役割分担に沿って、連携しながら出産を支えるものです、現在、分娩医療機関として6病院、健診協力医療機関として、当病院も含め16施設が登録されております、健診協力医療機関で妊娠が確認されると妊婦さんには「共通診療ノート」が配布され、受診の際に必要な情報が記載されます。

お産が近づくと分娩医療機関を受診し、この共通ノートにより、医療機関の間での円滑な情報共有ができることで、緊急対応も含め、このシステムに参加している全ての医療機関においての産科医療の提供が行える体制となっております。

以上が大町病院に対しての質問と答弁ですが、出産・子育て安心ネットワークは大変良いシステムと思います、多くの妊婦さんが活用することを願うばかりです、また参考ですが平成30年に厚生労働省調査によると、平成18年から平成30年までの医療施設従事医師数は81,666名の増加ですが、産婦人科医師数はたった68名の増加だそうです。

市社会福祉大会でサポーターの会表彰される

2月4日、大町市と市社会福祉協議会主催の「大町市社会福祉大会」が文化会館において開催され、社会福祉協議会に登録し10年以上活動し、社会福祉に貢献した団体等が表彰されました。市立大町総合病院サポーターの会は会を代表し降旗剛会長が表彰状を受け取りました。

サポーターの会結成は2010年5月ですので13年目となります。

環境整備や会報発行、講演会、懇談会、職員との交流会など様々な取り組みを通じて大町病院をサポートしてきました。その成果が評価されたものです。



信大医学部研修生の市内視察研修



2月13日、信州大学医学部5年生3人を市内視察研修に案内しました。渋谷佳人（しぶやかいと：静岡県出身）、林凱人（はやしかいと：名古屋市出身）盛谷充希（もりやみつぎ：つくば市出身）の皆さんを高橋次長がガイドしました。いつものコースで、市内の若者たちの活躍している商店街と、仁科氏が室町時代から作ってきた大町の市街地や水路、男清水、女清水な出を見て回り小林でそばをいただきながら会話。3人が異口同音に「大町病院のレベルは高い。」と感想を述べられました。蕎麦のほか安曇族が食べてきたといわれる郷土料理の「イゴ」を食べてもらいました。

そのあと仁科神明宮、社民俗資料館で山寺廃寺跡から出土した青白磁の水差し、美濃焼の壺3個、写経石、曾根原・五十畑遺跡から出土した陶硯などを見学し山岳博物館付属動物園でライチョウ、カモシカ、若一王子神社、青木湖、結氷した中綱湖、木崎湖キャンプ場、森城、温泉郷から、わっぱら遺跡、劇団四季倉庫、山の神などを見て「ねむの木」でお茶を飲み歓談しました。後日その折に撮ったスナップ写真を皆さんに贈りました。



4月3日 研修生へのレクチャーを行いました。

4月3日（月）15：15分より45分まで病院南棟講堂でサポーターの会降旗剛会長と、高橋博久事務局次長が、新入職員各職種17人に対して、サポーターの会の結成から今日までの活動をパワーポイントで報告しました。降旗会長は新入職員へのお祝いと歓迎のあいさつを述べ「地域医療のために尽力いただき、サポーターの会など、市民と力を合わせ、病院を守っていただきたい。」とあいさつしました。



市立大町総合病院事務長が交代しました。川上晴夫様お疲れさまでした。

市立大町総合病院事務長 曾根原耕平（前民生部長）
民生部長兼福祉事務所長 川上晴夫（前市立大町総合病院事務長）

病院玄関での患者様へのアルコール消毒と検温の実施、案内の協力

コロナ禍により大町市総合病院では、待合室入口にて手指消毒と検温のお願いをしており、入り口付近では職員が消毒・検温のサポートをするために毎日立ち続けていました。病院よりサポーターの会に検温等のサポートを応援してもらえないかと、申し入れがあり幹事会にて検討の結果会員の皆さんにも協力を呼びかけようという意見がありましたが、感染リスクがあるため、役員で行う事とし、実施期間は2月7日より3月30日まで週2日、火・木の午前9時から12時まで行う事としました。実際にサポートを行ってみますと、車いすの方、つえを持つ人、お子さん連れなど消毒・検温等のサポートを必要とする方の多いことに驚きました。追伸 マスク着用が個人の判断で良いことになり、病院での消毒・検温のサポートが3月23日以降の計画が中止となりました。

2/7	海川 明文	3/2	北澤 孝一
2/9	渋田見 博	3/7	相澤 文人
2/14	高橋 博久	3/9	降旗 剛
2/16	小浪 和正	3/14	内山 博
2/21	田中 栄一	3/16	勝野 礼二
2/28	中島 一郎		

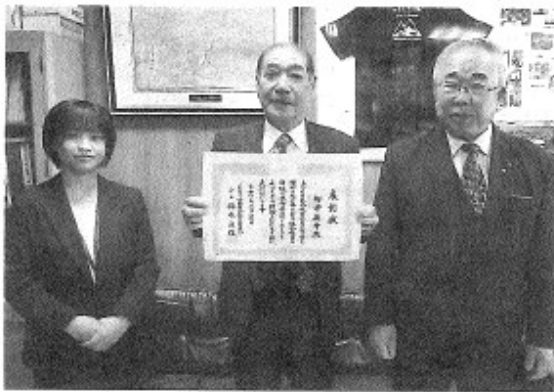


◎イルミネーションの片付けを行いました。

3月19日（日）午前9時から病院駐車場のモミの木につるされている、イルミネーションの「星」と、周りの柵と、樹木に飾られたイルミネーションのラインを外す撤収作業を行いました。作業には役員12人が参加し、2時間ほどで作業は終わりました。ラインの撤去に合わせ、伸びた枝の剪定も行いました。イルミネーションは12月2日より3月18日まで107日間輝きつづけ、患者や市民、職員をいやし、勇気づけてくれました。



広島県で開催された第64回全国社会教育研究大会広島大会において
令和4年度全国社会教育委員連合表彰、柳澤英幸さん



全国表彰を受けた柳澤英幸さん(中央)

社会教育発展へ貢献たたえる 全国委員 大町で初 柳澤英幸さん受賞 連合表彰

大町市大町十日町の柳澤英幸さん(72)が、10月に広島県で開催された第64回全国社会教育研究大会広島大会において、令和4年度全国社会教育委員連合表彰を受賞した。長年、市の社会教育の振興・発展に貢献したことが評価された。同表彰の受賞は同市では初めてという。

柳澤さんは平成24年から令和4年3月まで、12年間にわたり、社会教育委員として従事。市社会教育委員会議長、県中信地区社会教育委員連合協議会副会長なども務めた。在任中は第6期・7期の大町社会教育計画の策定に携わり、生涯学習推進プランの計画立案などに尽力した。

11月8日に市教育委員会を訪れ、荒井今朝一教育長に受賞を報告。「最初の頃は何をやっていいのかわからないほしかったが、多くの仲間に出会えた」とは人生の宝。皆さまの協力と支援のおかげで今回の受賞ができたことからも感謝している」と述べ、授賞式の様子やこれまでの思い出を語った。

荒井教育長から祝福を受け、「少子化やコロナ禍にあつて社会教育の推進には、やる気のある人が集まるのが重要。任期は終わってもこれからもできる範囲で協力していきたい」と話した。

健全育成に貢献 大町の2人 海川さん、津滝さん 県知事賞

大町市子ども会育成連絡協議会役員の海川明文さん(72)と平西原二と市青少年指導委員の津滝公一さん(74)が、地味な活動から15年間にわたって子どもたちを長年に見守り、青少年の健全育成に貢献したとして県知事賞を受賞した。

津滝さんは平成19年から15年間にわたって、指導委員を務め、街頭パトロールや生徒の育成などに尽力。住民同士をつなぐ「あいさつ」を大切に、学校でのいさづ運動だけでなく、日頃から子どもたちへの積極的な声かけに取り組んできた。

指導委員協議会メンバーが大町西公園で飯田市で17日に開催された県青少年健全育成大会で、表彰式が行われた。大北地域からは他に、大町市青少年指導委員の丸山昇さん(78)と大町俵町二と県少年警察ボランティア協会の田原一正さん(72)と松川村緑町中区二が、県将来世代応援県民会議会長表彰を受賞した。受賞者を代表して海川さんがあいさつした。



飯田市で開かれた県民大会。受賞者を代表して海川さんがあいさつ

旧聞になりますが大町病院サポーターの会幹事のお二人が永年地域活動にご尽力くださったり全国表彰と県知事賞をそれぞれ受賞されました。おめでとうございます。大系タイムスさんにご快諾いただき同紙の記事を載せさせていただきました。

飯田市で開催された県青少年健全育成県民大会で県知事賞を受賞、海川明文さん

お知らせ

会員各位

令和5年度大町病院サポーターの会総会の開催について（通知）

市立大町総合病院サポーターの会
会長 降旗 剛

皆様方におかれましては、新年度を迎え、ますますご健勝のことと拝察いたします。日頃より当会の運営につき多大なご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて本年度の総会を下記の通り開催しますので通知申し上げます。

日時：5月14日（日）午後2時～（受付：午後1時30分）

※総会終了後に一般公開講演会があります。

講師：大町総合病院 笹澤裕樹先生（感染症内科）

演題：「ポストコロナの感染症対策」

会場：フレンドプラザ大町（文化会館南側）2階会議室

議題：令和4年度事業報告、令和4年度決算報告、同監査報告

令和5年度事業計画（案）、令和5年度予算（案）、役員選任（案）

※同封の出欠はがきをお出しく下さい。出席できない方は委任状に記載をお願いします。

花壇の草取りと花植えを行います。

日時：5月14日（日）午前9時～

大勢の皆さんご参加ください。



◎市立大町総合病院サポーターの会 令和4年度会費納入者リスト

令和5年3月31日現在

会費納入ありがとうございました（順不同）

個人会費

高橋鴻生 安達貞司 大竹真千子 西澤運之 内山博 中村義明 沢渡勇治 石原学 望月めぐみ
中村康貴 宮脇哲子 河合由岐子 坂井将夫 白沢千代子 酒井周一郎 吉澤学 西澤良忠 川上晴夫
平林ひろい 小日向敦子 井上善博 遠藤幸廣 西澤礼子 武田浩美 丸山典生 小林奈美 前田敏博
篠崎久美子 原山奈々 松本光代 傳刀正徳 内川篤 縣信 縣美穂子 牧野芳子 平出誠二
一本木秀章 和田由美子 篠崎ヤヨヘ 中村直人 吉岡寿美代 手塚和子 丸山初枝 水久保節
宮原洋 宮原幸子

団体会員

(有)五十嵐木材 木崎湖温泉開発(株) 日特工業(株) (株)島崎組 信光実業(株) (有)長野クリーンサービス
アズサイエンス(株) (有)白馬交通 (有)宮沢自動車 (株)グラムタカミ薬局 (株)GC I 大北薬剤師会